



私のひとりと

「激震」

今回の熊本地震で被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。また、亡くなられた方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

家を建てる仕事の私達にとって、地震と聞くだけでドキッとする。特に今回の九州地方と言えば家内の出身地方（佐賀県）だけに、佐賀県はもとより福岡・長崎・熊本に身内がいる。震災直後は電話も繋がらなかったが、その後連絡が取れ全員無事との事であった。ただ熊本に居る姪っ子だけは実家のある福岡に避難している様子である。また、熊本市内で工務店を営んでいる知人もいるが、全員無事であると連絡が入った。ただ、現地ではブルーシートが無く、提供依頼のメールも来ている。少し落ち着くにつれ、テレビで流れる映像を見てショックを受けた。比較的新しい家までが倒壊しているではないか…。ある NHK の番組で今回の倒壊のメカニズムを検証していた。その番組では、一度目の震度 7 の地震で耐震性能を維持する筋交等が損傷を受け、耐震性能が低下した所に二度目の震度 7 の地震で多くの家が倒壊したと説明された。確かに納得のいく話ではあるが、私達にとってはとてもショッキングな事実である。耐震診断士でもある私は、以前、美浜町内の比較的古いお家の耐震診断をした事があるが、診断をした全てのお家は、震度 6 弱の地震で倒壊の恐れがあるとの診断結果ばかりであった。リフォームの際、耐震補強をすればその限りではないが高額な費用が発生する…。



【困っている方に、すっと手を差し伸べられる気持ちを持ちたいものです】

テレビでは、毎日多くのボランティア活動の様子が放映されている。人間が本来持つ、助け合う心の現われである。その姿には頭が下がるが、私などは、せいぜい募金箱に募金をする程度で恥ずかしい限りである。ただ、東北大震災の経緯を知る私達は、ボランティア活動で一見明るく写る映像では見えない、影の部分にネガティブに考えてしまう。今回は車の部品工場が災害を受け、自動車業界が打撃を受けたと聞く。東北大震災の時は、住宅で使用する断熱材工場が全壊し、住宅業界は打撃を受けた。品薄の為、断熱材の値段が高騰し現場から断熱材が盗まれるなどの被害も出たようだ。今回の熊本地震では、建築業界には表立っての被害は無かったが、それでも九州地方では今後直面する職人不足がある。多くの現場に人手をとられ、職人が圧倒的に不足する。それにより現場の工程が大幅に遅れ、それに伴い資金繰りの悪化などで、危機的状況に追い込まれる企業もあるかもしれない…。その反対に、言葉は適切ではないが、震災景気と言われる現象も起き、仕事、仕事で潤う企業もあるだろう…。いずれにせよ職人の賃金や資材の高騰は起き、市場は混乱する。東北大震災で被害に遭われた方がやっとの思いで家の建築を始めたが、日を迫る毎に価格は上昇していると言う。等など…市場の混乱はお客様を直撃している。年々、建築基準法で耐震性能は強化されているが、家を建てる仕事に携わっている以上、私達は地震との恐怖と背中合わせである…。

熊本の一日も早い復興を、心よりお祈り申し上げます。ガンバレ熊本！

ではまた来月もお会いしましょう。
今月も最後まで読んでいただき…、

あーがしう
ごさいました!!

